



平成30年度

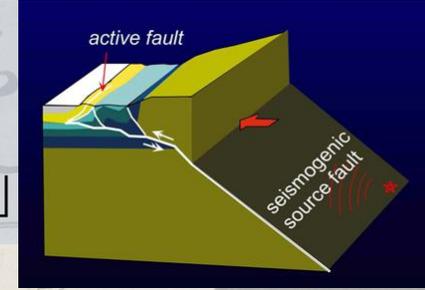
日本地質学会北海道支部例会



招待講演会13:10-14:10

佐藤比呂志 (東京大学地震研究所 地震予知研究センター 教授)

「北海道の地震発生ポテンシャル評価に向けた震源断層マッピング」



活断層-震源断層システム。

東京大学地震予知センターHPより引用

プログラム

13:00-13:10 開会のあいさつ

13:10-14:10 招待講演 佐藤比呂志・石山達也・橋間昭徳・阿部進
「北海道の地震発生ポテンシャル評価に向けた震源断層マッピング」

個人講演会 (発表17分, 質疑3分) 14:20-17:00

14:20 - 14:40 宮坂省吾・坂下哲哉・岡村聡
「発寒川扇状地—地すべりによる河川争奪—」

14:40 - 15:00 星野フサ・横山光・岡本研・佐藤広行
「北海道長流川左岸に分布する縞状堆積物の花粉分析—2万年前にマンモスゾウがおそらく見たであろう景色—」

15:00 - 15:20 嵯峨山積・佐藤明・井島行夫・岡村聡
「札幌市東区の上部更新統～完新統ボーリングコア (SL-2) : 層序と堆積環境」

15:00 - 15:20 休憩 (地質学会札幌大会事務局からのお知らせ)

15:50 - 16:10 林圭一・川上源太郎・加瀬善洋
「芦別市サキペンベツ川流域に露出する“礫岩卓越層”から得られた渦鞭毛藻シスト化石群集に基づく地質年代とその意義 (予察)」

16:10 - 16:30 増本広和・亀田純
「粘土鉱物の熱分解反応からみたプレート境界断層の熱履歴とすべり挙動」

16:30 - 16:50 シンウォンジ・竹下徹
「炭質物ラマン温度計を用いた神居古潭変成岩類の温度構造の検討：北海道中央部神居古潭峡谷地域の例」

16:50 閉会のあいさつ

18:00～ 懇親会

日時：2018年6月16日(土) 13:00～17:00

場所：北海道大学理学部5号館大講堂

参加費：会員500円・非会員1000円・学生 無料

問い合わせ先：北海道支部幹事 亀田純(kameda@sci.hokudai.ac.jp)

※総絵「しんよし原大なまつゆらひ」—東京大学所蔵石本コレクションより